

海老名市のお財布事情

☎ 財政課 (235)8453

市では毎年、財政状況を公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているかお知らせしています。

今回は、財政状況とその変化を身近に感じてもらうために、平成22年度と平成12年度の一般会計決算額を、年収500万円の家庭の家計簿に換算してみました(※)。

10年前のお財布とどう変わったのか、一緒に見てみましょう。

※一般的な家計簿の分類と市の予算の分類は、内容が完全に一致するものではありません。



	(平成 12 年度)	(平成 22 年度)
収入		
給料	338 万円	404 万円
うち基本給 (市税)	251 万円	274 万円
うち諸手当 (国県支出金・地方譲与税・交付金)	87 万円	130 万円
貯金の取り崩し (繰入金)	26 万円	16 万円
家賃収入 (分担金・負担金・使用料・手数料・財産収入・寄付金・諸収入)	23 万円	27 万円
親からの仕送り (地方交付税)	3 万円	1 万円
家の増改築ローン借入れ (市債)	21 万円	27 万円
前年度からの繰り越し (繰越金)	24 万円	25 万円
合計	435 万円	500 万円

お財布は5つあります

市では現在、5つのお財布(会計)に分けて家計を管理しています。

一般会計

国民健康保険事業特別会計

下水道事業特別会計

介護保険事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計

} 子どものお財布

今回は、一般会計の家計簿を掲載しており、その他の4つの特別会計を「子ども」と表現しています。



海老名市の家計簿の特徴は？

【収入】「親からの仕送り」と「家の増改築ローン」が少ないことです。「給料」などほかの収入源でまかなえているため、「親からの仕送り」をあまり受けず、借金も少なくすんでいます。

【支出】「ローン返済」が少なく、「家の増改築費」が多いことです。市民一人あたりの借金残高が、県内(政令市を除く16市中)で一番少なく、また、積極的に道路の整備や公共施設の大規模改修などのまちづくりを推進しているためです。

【生活資金ローン】多くの市では、生活資金のためのローン(臨時財政対策債の発行)を組んでいますが、海老名市はローンを組まずにやりくりしています。



	(平成 12 年度)	(平成 22 年度)
支出		
食費 (人件費)	101 万円	96 万円
医療費 (扶助費)	26 万円	102 万円
ローン返済 (公債費)	38 万円	33 万円
光熱費・教育費など (物件費・維持補修費・積立金・補助費など) その他生活費	110 万円	127 万円
家の増改築費 (普通建設事業費)	92 万円	84 万円
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	35 万円	35 万円
合計	402 万円	477 万円

※収入との差額は、次年度への繰り越しになります。

家の増改築費(普通建設事業費)でできたこと



～海老名の顔～

海老名駅駅舎部自由通路完成

エスカレーターの設置などにより、バリアフリー化の推進や乗り継ぎの安全性・利便性の向上を図りました。



～南部の利便性向上へ～

南伸道路開通

市南部と海老名駅周辺地区を結ぶ市の骨格を成す幹線道路として、道路交通ネットワークの充実を図りました。